

## 植生学会将来検討委員会からのアンケート

会員各位

平素、植生学会の活動にご協力いただき感謝を申し上げます。

昨年度、将来検討委員会では植生学会の運営、刊行物、各種活動などについて意見を出し合い、将来計画案を作成いたしました。その際に、会員の皆様のお考えやご要望をお伺いするためにアンケートを実施いたしました。

会員の皆様への公開が遅くなり申し訳ありませんが、次のとおり、アンケートの集計結果をお示しいたします。

今後ともよろしく願います。

将来検討委員会委員長 川西基博

1) あなたの属性をお答えください (必須) →  affil

- ・ 学生 (学部生)
- ・ 大学院生
- ・ 大学教員,
- ・ その他教員
- ・ 研究所等の研究員
- ・ コンサルタント会社などの会社員
- ・ コンサルタント会社以外の会社員
- ・ 公務員
- ・ その他
- ・ 回答しない

2) 年代をお答えください (必須) →  ages

- ・ 20 歳未満
- ・ 20 歳代
- ・ 30 歳代

- ・ 40 歳代
- ・ 50 歳代
- ・ 60 歳以上
- ・ 回答しない

3) 大まかな会員歴をお答えください (必須) →  years

- ・ 5 年未満
- ・ 10 年未満
- ・ 20 年未満
- ・ 20 年以上
- ・ 回答しない

4) これまでの植生学会大会の参加回数をお答えください (必須) →  congres

- ・ 0 回
- ・ 1 回
- ・ 2~5 回
- ・ 6~10 回
- ・ 11~20 回
- ・ 20 回以上
- ・ 回答しない

**【大会に関して】**

5) 大会の時期は 10 月が慣例となっていますが, 他の時期での開催の可能性を検討しています. 業務などの関係で参加しやすい月を全てお答えください (複数回答). (必須) →

con

- ・ 1 月
- ・ 2 月
- ・ 3 月
- ・ 4 月
- ・ 5 月
- ・ 6 月

- ・7月
- ・8月
- ・9月
- ・10月
- ・11月
- ・12月

6) 上記5)のように回答した理由があればお書きください。(自由回答)

(理由 )

7) コロナ後の大会の方針はどうあるのが良いと考えますか。(必須) → con\_type

- ①今後も全面リモートがよい.
- ②一部リモートを含めつつ、オンサイトで開催する方がよい.
- ③リモートは行わず、基本的にオンサイトで開催する方向がよい.
- ④その他 ( )

8) 上記7)のように回答した理由があればお書きください(自由回答).

(理由 )

9) 現在は大会と合わせてエクスカージョンが企画されていますが、大会と別日程でエクスカージョン(調査会, 研修会等の名称で実施)を開催する可能性も検討されています. エクスカージョンへの参加のしやすさについてお答えください。(必須) → exc\_type

- ・大会と合わせて実施された方が参加しやすい
- ・大会と別日程で実施された方が参加しやすい
- ・どちらでも良い
- ・参加しない

10) 上記9)のように回答した理由があればお書きください。(自由回答)

(理由 )

11) エクスカージョンの実施時期として適当だと考えられる月をご回答ください(複数回答可).(必須) → exc

- ・1月

- ・ 2 月
- ・ 3 月
- ・ 4 月
- ・ 5 月
- ・ 6 月
- ・ 7 月
- ・ 8 月
- ・ 9 月
- ・ 10 月
- ・ 11 月
- ・ 12 月

1 2) 上記 1 1) のように回答した理由があればお書きください。(自由回答)  
(理由 )

**【学会誌に関して】**

1 3) 運営経費の見直しの観点から、現在ペーパーレス化の可能性について検討していません(他学会のように紙媒体希望者用に冊子体購読費を設定)。そのように植生学会誌、植生情報誌が電子化された場合、紙媒体の受け取りについてお答えください。(必須) → journal, → inform

- ・ 学会誌の紙媒体：必要・不要
- ・ 情報誌の紙媒体：必要・不要

1 4) 植生学会誌の今後の方向性として、①学術的発信力(新規性・先進性・国際水準・英文誌化とインパクトファクターの付与)と②地域の植生に関する基礎情報の発信、③学会の基礎的・応用的研究の推進、のそれぞれの機能強化の必要性が指摘されています。投稿区分の変更や雑誌の再編などの方法で、上記項目の共存の可能性も探っております。それぞれの方向性についてのお考えがあればお聞かせください。(自由回答)

**【学会全般に関して】**

1 5) 植生学会の活動のなかで今後さらに強化すべき項目として、考えられるもの上位 5 項目を順位を付けてお答えください。(必須) → dir

- ①他学会との連携→**contact**
- ②社会貢献，教育・普及・啓発→**social**
- ③国際性→**inter**
- ④雑誌などの発行物→**journal**
- ⑤調査法，解析法などの技術の共有→**teq**
- ⑥会員同士の交流の場→**contact**
- ⑦エクスカージョン→**excur**
- ⑧若手育成（トレーニングスクールなど）→**youth**
- ⑨キャリア支援→**carrier**
- ⑩大会以外の企画（シンポジウム，現地観察会等）→**project**
- ⑪自然保護，植生管理→**conserv**

16) 新たに取り組むべき活動など今後の植生学会への要望，またはその他のご意見がありましたらお書きください。

（自由回答）